

平成 29 年度 大分川・大野川学識者懇談会 議事概要

平成 29 年 7 月 5 日（水）13:30～15:30

大分河川国道事務所 別館第 1・第 2 会議室

【出席者】

中野委員長、川野委員、佐藤委員、島田委員、東野委員、本谷委員、
吉田委員

【要旨】◆：委員、●：事務局

1-①【大野川水系河川整備計画の点検について】

1) 主な質問

- ◆ 維持流量は利水項目中で整理されているが、河川環境を維持するためのものと認識しており、環境項目に入れるべきではないか。
- 流水の正常な機能を維持するための必要な流量は、動植物の保護、漁業、景観、流水の清潔の保持等を考慮して定める維持流量、および、農業用水などの利水のための必要流量を合わせた流量であり、環境も含まれている。今後、記載方法について検討する。
- ◆ 九州地方と北海道地方とでは雨の降り方が異なると思う。全国データではなく例えば西日本や九州、水系ごとといった地域を限定したデータを作成すると良いのではないか。
- 地域の特性を紹介できるよう今後検討する。

2) 大野川水系河川整備計画の点検結果

引き続き、現計画に基づき、河川整備を実施していくことで了承された。

1-②【大野川直轄河川改修事業の事業再評価について】

1) 主な質問

意見なし

2) 大野川直轄河川改修事業の事業再評価の審議結果

対応方針（原案）どおり「事業継続」で了承された。

2-□【大分川水系河川整備計画の点検について】

1) 主な質問

- ◆ 河川水質は環境の中でかなり重要な要素と思うので、環境のテーマとして入れていただきたい。
 - 今後検討する。
- ◆ 河川にはカメラが多く設置されていると思うが、どのような箇所に設置しているのか。
 - 河川空間の監視と構造物の操作の補助のために設置している。
- ◆ 河川カメラは録画データを蓄積しているのか？長期的にみて景観がどのように変わったか等、定点カメラとして利用してはどうか。
 - 現状として、動画データの蓄積は行っていない。長期的には現状を写真撮影し記録を残していきたい。
- ◆ 大分川の堤防について、地震・津波に対する耐久性はあるのか。
 - 基準に基づき実施しているところ。

2) 大分川水系河川整備計画の点検結果

引き続き、現計画に基づき、河川整備を実施していくことで了承された。

2-②【大分川直轄河川改修事業の事業再評価について】

1) 主な質問

- ◆ コスト縮減について、当初設定していた事業費が厳しいからコスト縮減を図っているのか。または削減できるところは削減するという考え方なのか。
 - 整備計画の事業を進めていく中で、随時コスト縮減を図っている。
- ◆ H26年に検討した時点から危機管理型ハード対策が追加されており7億円の増額とあるが今年費用対効果を見直す必要はなかったのか。
 - 事業費の増加が10%以内であるため、実施要領に基づき、今回費用対効果分析を実施していない。
- ◆ ヨシが繁茂し鳥類が飛来する地区がある。一括りに改修範囲とするのではなく、生態系や動植物のことも考慮した計画としてほしい。

- 大分川・大野川河道管理環境検討委員会を別途設置しており、河道掘削や樹木伐採に関して有識者から助言を受けながら実施している。
- ◆ 大分県の事業だが宗麟大橋の整備が進んでいる。河道内に橋脚が多くみられるが、主に環境に対する配慮等、河川協議をどの程度行っているのか教えて欲しい。
- 河川に橋梁を架ける際は、事前に河川協議を行っている。詳細な協議内容については確認し後日返答する。

2) 大分川直轄河川改修事業の事業再評価の審議結果

対応方針（原案）どおり「事業継続」で了承された。

2-③【大分川ダム建設事業の事業再評価について】

1) 主な質問

- ◆ 大分川の支川七瀬川に造るダムで、大分川ダムというのはどうかと思う。ダムの名称について地元や七瀬川沿線の人へ配慮した名称とすべきではないのか。
- 地元からも同様の意見を頂いています。
名称の変更については手続きが必要となるため検討していきます。

2) 大分川ダム建設事業の事業再評価の審議結果

対応方針（原案）どおり「事業継続」で了承された。